

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【生石小学校】

<第1学年：なつだいっしょにあそぼう>

1学年は生活科の学習で、シャボン玉遊びを楽しんだ児童は「大きなシャボン玉を作りたい。」「ぶどうのようにつなげたい。」とイメージを膨らませ、針金ハンガーやうちわ、ストローなど身近な材料でオリジナルの道具を作成した。校庭での実践では、当初苦戦する姿も見られたが、講師による助言により児童の学びが広がった。児童はすぐに答えを求めめるのではなく、膜の状態を観察しながら、液の含ませ方や動かすスピードにコツがあることに気付いた。児童は最後まで意欲的に挑戦し、コツを言語化して伝え合う姿が見られた。自分で作った道具でイメージどおりのものが作れた喜びは、児童の自信につながった。風の強さや道具の形によって変化するシャボン玉を通じ、自然の不思議さや面白さに気づき、自ら工夫して遊ぶ力を養うことができた。

<第5学年：ひろがる つながる 未来>

5学年の児童は、総合的な学習の時間「米米パークで田植え・稲刈り」の学習で、学校の隣にある約8aの田んぼ「米米パーク」で、年間を通して米づくり体験を行っている。この活動は長年、地域の農家、公民館、JA、高齢者クラブの方々とのつながりによって続いている生石小学校の伝統ある行事でもある。6月は田植えを行い、苗を一つずつ植えていく作業を通して、昔の人の苦労を感じ取った。7月は各学級で、米の成長を願ってオリジナルのかかしを作った。11月には稲が豊かに実り、稲刈りを行った。悪天候の中であったが、収穫の喜びを味わうことができた。この米は、家庭科の調理実習で用いたり、全校への給食として提供したりして、新米のおいしさを味わった。

児童は、活動を通して地域の方々の優しさに触れたり、田んぼを管理してくださる方がいることに気付いたりすることを通して、感謝の気持ちを高めることができた。また、生石地区のよさを再発見し、愛着をもつことができた。

